

令和6年度「男女共同参画社会づくり表彰」 受賞者の活動概要及び受賞理由

【ハーモニー賞】 真木 柁鷹 氏 （住所：由利本荘市）

◆活動概要及び受賞理由

平成10年に、性的マイノリティの交流の場として自助団体「ES-T 東北（現：性と人権ネットワーク ESTO）」を立ち上げ、すべての人の存在が尊重されることを願い、多様な性を生きる人々の人権を啓発するために活動されています。

多様な性への理解を深めるため、交流会や講演会を開催し、学生から高齢者まで幅広い世代の人に「性は人権」の意識を広めてきたほか、定期的なニュースレターやメールマガジンの発行により、他の活動団体とのネットワークを構築するなど、啓発活動や当事者の支援に精力的に取り組まれています。

また、平成16年から「あきたF・F推進員（※）」として地域の男女共同参画事業に尽力されるとともに、県教育庁が主催する研修会で講師を務めるなど、地域におけるジェンダー平等社会の実現に向け大きく貢献されています。

こうした性別に関わらずすべての人の人権の尊重を促進する活動は、男女共同参画社会の実現に向け、今後の社会づくりにも好影響を与えるものとして、その功績は大きいと評価されました。

【チャレンジ賞】 伊藤 励 氏 （住所：大館市）

◆活動概要及び受賞理由

性別や年齢に関わらず、誰もが気軽に交流できる場の提供を通じて地域の活性化を図り、若い世代が希望を持って暮らせる地域の実現に向けて、次世代のリーダーとして積極的に活動されています。

就職を機に上京後、令和2年に帰郷し、働き世代や子育て世代などが気軽に集い情報交換ができる交流会を開催することで、つながりが生まれにくい若年層の交流拡大に寄与されました。現在では、幅広い世代の参加者を受け入れる交流会として、地域の人と人をつなぐ役割を果たしています。

また、交流会を通して得られた多様な意見を活動に活かし、男女の出会いの場を創出するなど新たな活動にも挑戦しているほか、町内会長にも就任しており、若い世代が住みたいと思える地域を目指し、今後も取組を進めていくことが期待されています。

従来、若年男性の参画が少なかった地域におけるこうした取組は、性別や年齢にとらわれずにチャレンジすることができる男女共同参画社会の実現に大きな影響を与えるものであり、その功績は大きいと評価されました。

（※）「あきたF・F推進員」：地域での男女共同参画の推進的役割を担う人材